



10月号

平成28年9月30日発行



荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [Tel 911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



米づくり 考

～ 米づくりは 人づくり ～

校長 澤田 有子



41回目の稲刈りは、雨のために日程が延び、平日収穫になりましたが、多くの保護者の皆様、地域の皆様、そして、教員を目指している学生たちの協力を得て無事に終わることができました。心より感謝いたします。

さて、本校創立3年目から今日まで長きにわたり続けられてきた『米づくり』が荏田小学校にもたらしたものは何であるのでしょうか。この活動は、第2代校長と地域の方々が「学校と地域と一緒に荏田のまちの子どもたちを育てたい。学校と地域が一体となってできる楽しめる活動はないか。」ということから始まったと聞いています。田んぼは地域の方に貸していただき、水は水利組合のお世話になってきました。そして、学校では、この米づくりを特色ある活動の一つとしてカリキュラムの中に位置づけ、つぎの二点をねらいとして取組を進めてきました。PTA活動とも連携しています。

- 米づくりという生産活動を通して、一粒の米を得るための苦労を知り、収穫の喜びを味わうことができる子どもを育てる。
- 子どもと教職員、保護者、地域の方による協同農作業を通して、力を合わせることの大切さを知り、感謝の心をもつことができる子どもを育てる。

では、この活動が荏田っ子たちに何をもたらしたのでしょうか。私はつぎのように考えます。

【大地は人を確実に育てている】

- ・ 子どもたちは、米づくりという本格的な生産活動に携わることで、生きるための糧を得るための苦労を体感しながら、汗を流して労働することの意味と意義を学ぶことができている。
- ・ 子どもたちは、土に触れることを厭わず、のびやかに土と戯れながら田んぼの生物と遊び、豊かな心を育んでいる。
- ・ 子どもと教職員、保護者、地域の方による協同農作業は、日本人気質のよい点「チームワーク」をそれぞれの中に確実に育んでいる。

【本物のたて割り活動による人との関わり】

- ・ 米づくりという生産活動にたて割り活動を組み込むことで、表層的ではない異学年交流を実現している。

その他にも、人としての成長には欠かせない何かを心の片隅に醸成しているのではないかと感じています。これは、先人より受け継がれてきた言葉、まさしく「米づくりは 人づくり」ではないでしょうか。

荏田小 米づくりプロジェクト

4月上旬	種籾授与式	・ 6年生より、5年生に種籾伝授	7月下旬	草取り・防鳥テープ	・ 希望者による草取り・教職員作業
4月中旬	田起こし・畦切り	・ 教職員作業	9月上旬	案山子づくり	・ 3～6年
	塩水選別	・ 5年生による種籾の選別	9月下旬	稲刈り	・ 3～6年とPTA等【1・2年は運搬】
	温湯殺菌	・ 5年生による種籾の殺菌	10月上旬	脱穀	・ 5年生とPTA等による脱穀
	苗づくり	・ 5年生による苗づくり	11月中旬	籾摺り	・ 5年生による籾摺り
4月下旬	畦塗り	・ 5年生と教職員による畦塗り		精米	・ 5年生による精米
5月上旬	代かき	・ 教職員作業	11月下旬	餅つき	・ 学校とPTA等による餅つき祭り
6月上旬	苗取り	・ 3～6年とPTA等【1・2年は応援】	12月上旬	しめ縄づくり	・ PTA主催によるしめ縄づくり
	田植え	・ 3～6年とPTA等【1・2年は応援】	1月中旬	どんど焼き	・ PTA主催によるどんど焼きと催し物